



生活支援コーディネーター通信

令和6年
12月18日

※生活支援コーディネーターは地域みなさんとともに
地域での支え合いの仕組みづくりに取り組んでいます。



Vol.48

11月28日に行われた「藤水地区自治会連合会」の定例会に出席させていただき、藤水地区での「買い物についての困りごと」や「移動販売の必要性」についてお話を伺いました。



買い物に不便を感じながらも、やむを得ずシルバーカーを押している方がみえるね。このような方々に移動販売を利用していただければと思うね。運転しない人にとって、買い物が不便に感じられるのは大変なことだと思うよ。



年を重ねるにつれて移動販売は必要になってくると思うわ。団地には移動販売車を長く止めることはできないが、散歩がてら運動がてらになるのでいいと思う。スーパーから離れている方には便利だと思うわ。



働いている人が多い地域なので、買い物支援のニーズは少ないかな。



高齢者の方から、近くにスーパーがあるが坂がしんどいため、他のスーパーを利用していると聞いたことがあるが、現在閉店しており不便していると思うよ。避難訓練でも坂を登れない人がいて大変だと思う。お年寄りの方で不便に感じている方がいらっしゃるのではないかな。買い物の困りごとがある方には、移動販売はいいことだと思うよ。



一部の地域で移動販売をしてみることで、もし、地域住民のニーズがあれば口コミで広がっていくかもしれないね。例えば、隣の地区とコースを組み合わせることでうまくいく可能性があるかもしれないね。まずは藤水地区でやってみて、それが展開していければ持続可能な活動にもつながっていくのではないかな。



岩脇



大谷

藤水地区自治会連合会としては、試験的に移動販売をトライアルしてみたいですか。



各地域のお話を伺い、買い物に困られている方がみえることがわかりました。このことを地域の課題として捉えていただき、移動販売の取組みを前向きに考えられました。身近な移動販売は、買い物がしやすくなるだけでなく、地域のコミュニティの充実や見守り合いにつながっていくと思います。これからも藤水地域みなさんと「安心して暮らせる地域づくり」に向けて、取組みを進めさせていただきたいと思います。